

1. 審議会等の名称 令和5年度嘉麻市健康づくり推進協議会
2. 開催日時 令和5年7月6日(木) 14時00分～15時30分
3. 開催場所 嘉麻市保健センター 1階多目的室
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
  - (1) 委員 岩見 元照、坂本 留里子、福澤 準子、合代 さゆり、大内田 由香  
渡邊 美千代、赤間 秀人、末吉 進一、松田 クニ子  
(欠席:野上 佳代、犬丸 隆行、後藤 英伸)
  - (2) 執行機関  
健康課 課長 堀田 晶、健康推進係長 井口 智美、保健師 川野 里枝、  
子育て支援課 課長 柴田 きよみ、課長補佐 永島 祐樹  
母子保健係長 岩永 美穂、発達相談支援係長 上村 美智子  
市民課 保健師 高岩 麻紀
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び審議の内容
  - 健康課長あいさつ
  - 委員及び事務局職員紹介

**【議 事】**

- (1) 令和4年度保健事業実績及び令和5年度計画について
- (2) 子どもと若年代の食習慣改善のための取組みについて
- (3) その他

**【審議の内容】**

- (1) 令和4年度保健事業実績及び令和5年度計画について

**①子育て支援課が所管する事業について説明**

**【質疑・意見】**

- (委 員) 保育所に年3回巡回相談に来ていただいて、午後からの研修では作業療法士に来園いただき感謝している。保育園だけではかかわりが難しいケースに対する保健師や作業療法士などの専門職の意見は助かっています。
- (委 員) 資料からPDCAサイクルを廻しながら事業を展開してあることがよくわかります。P6妊婦健康診査の実績で、公費負担の補助券が14回あるのに対し、平均利用回数が7.3回と少ないような印象をうけるがどのように分析をされているのでしょうか。
- (事務局) 実績の平均利用回数は受診延人員を受診人員で単純に割って計上しています。年度で集

計を行っていて、1人の妊婦さんが14回の補助券を同年度内に使うとは限らず、年度をまたがって利用しているために、1人の方がその年に何回補助券を利用しているのか算出することが難しい状況です。ただ、妊婦健康診査の結果を把握する中で、一人あたり平均12回程度、補助券を利用することが多いように感じています。ほとんどの方が、予定日前の出産なので13回、14回目は利用していない方が多いような状況です。

妊婦健康診査を受ける回数が妊娠周期によって異なり、妊娠初期であれば4週間に1回、妊娠後期では1週間に1回の受診となります。年度で区切った際に、その年度に様々な周期の方がいるので、1人の方が利用する補助券の回数を出すのは難しいですが、クラミジア検査や貧血検査等、週数に応じた時期に必要な検査は産科医療機関で受けていただいていると認識しています。

(委員) P6 養育医療について、人口動態で令和2年の低体重児の割合は11.8%となっているが、年度が異なるが、令和4年度の申請が0になっているのは、出生体重が2500g未満はある程度いるけれど、対象となる2,000g未満がなかったということでしょうか？  
そのあたりどのように分析されていますか？

(事務局) 平成25年に県からの権限移譲でこの事業が開始になりました。初年度は申請件数が7件でしたが、年度でばらつきがあり平均すると3件くらいではないかと思われま。令和4年度、低出生体重児はいましたが、養育医療の対象となる2,000g以下の未熟児はおられませんでした。

週数より早く産まれる早産の場合や痩せた妊婦さんから低出生体重児が産まれる傾向がありますので、母子健康手帳交付時に妊娠中の体重増加や、お母さんの栄養がお子さんに与える影響などお話をしています。

(委員) 産後ケア事業のショートステイ、デイサービスは施設で実施されているのでしょうか？  
(事務局) 産科と助産院で実施しています。令和5年度の実施施設は福岡県内で27施設ありますので、里帰り先等、産婦さんが選んで利用することができます。ちなみにショートステイやデイケアは管内の医療機関や菜の花助産院で利用することができます。母子健康手帳交付時にチラシを配布し情報提供を行っています。嘉麻市は、地域柄近くで親やきょうだいの支援を受けられる場合が多いので、ショートステイやデイケア等の滞在型よりもどちらかというと、母乳育児相談やアウトリーチ（訪問型）を希望する方が多くなっています。

## ②健康課が所管する事業について説明

### 【質疑・意見】

(委員) ひきこもりは、家に行ってもドアを開けてくれない、なかなか会ってくれない、電話をしても出てくれない、連絡がとれないと難しい問題です。年数が長くなればなるほど、家庭暴力などの問題が発生してくることもあるため、早い段階で介入していくことが大切です。先日、民生委員会に穂波庁舎にセンターができて、ひきこもりの方の情報がほ

しい、情報をいただければ自分たちがその後の介入を行なっていきますと見えましたが、ひきこもり支援対策の中で書かれているセンターはそのことでしょうか？

また、ひきこもりの相談窓口として田川の方にできていますがそういったところとは話はされているのでしょうか？

(事務局) 資料に記載していますセンターは、嘉麻市の社会福祉協議会のひきこもり相談支援センターで、この意見交換会の関係機関の中には、穂波庁舎のセンターの方や県のひきこもり相談センターや田川のサテライト、就労支援事業者なども含まれています。

(委員) 新型コロナワクチン接種について、健康被害の例もあり、接種に戸惑いを覚えます。市において死亡例を含み把握をしていますか？

(事務局) 接種後の副反応の例があることは承知しているが、接種との関係性はわかりません。

(委員) 集団接種でモデルナワクチンが使われている。ファイザーよりもモデルナの方が接種量が多く、副反応がでやすいと聞いていますがそういったことがあるのでしょうか？

また、コロナに感染しても3日以内に服用すればいいという薬がでてるとききましたがどうでしょうか？

(委員) 接種が開始された際に、モデルナに関してはモデルナアームと言った副反応がとりざたされ、接種量も多いので副反応がでやすいからと嫌がられる方多い。しかし、すべての方が出るわけではなく、ファイザーでも発熱や腕の痛みなど出る方はいます。逆にモデルナを接種しても何もない方もいて、なんとも言えない。ただいえるのは、接種したほうが感染しても重症化を防げるということです。

薬については、ラゲブリオというのがあり、この薬は他の薬との飲み合わせを考えなくていい薬で、発症から5日以内に服用することを進められています。この薬だけでなく他の薬もできるだけ早めに服薬するほうがいいとは思いますが、ただ、ゾコーバといった薬は腎機能の低下など起こる可能性もあり、他の薬との飲み合わせも難しいようです。

### ③市民課が所管する事業について説明

質疑・意見なし

(2) 子どもと若年世代の食習慣改善のための取組みについて

○高血圧の日に合わせて実施した庁舎ロビーでの普及啓発の取組みについて、ケーブルテレビで放送されたDVDを視聴。

○健康ポイント事業における新たな取組み（健康サポート食品プレゼント企画）紹介及び取扱店舗の現状等。

(3) その他

健康づくり推進協議会委員の任期について。委員の次期推薦依頼への協力について。

## 9. 配布資料

- 保健事業実績及び計画（事前郵送）
- 会議次第
- 嘉麻市健康づくり推進協議会 委員名簿
- 高血圧対策（熊本県南阿蘇村の取組み）
- 健康サポート食品プレゼント応募資料